

なぜ感染が拡大しているのか — 現地の状況

エボラ出血熱拡大の背景

エボラ出血熱がスーダンやコンゴで初めて確認されたのは 1976 年ですが、2014 年 1 月からギニアで、そしてリベリアやシエラレオネ等、西アフリカ諸国で爆発的に広がっていきました。現在確認されているだけで、2 万人近くが感染やその疑いがあり、死者も 6 千人を超えました。致死率は 5 割以上と、非常に危険なウイルスです。

エボラ出血熱は空気感染ではなく、感染者の嘔吐物、体液、血液等が目、口、鼻、または傷口等からウイルスが進入することにより感染します。よって手洗いを徹底したり、感染者への接触を控えることが重要です。現在感染が拡大している西アフリカ諸国では、基本的な衛生意識や医療体制が十分とは言えず、医療従事者に必要な个人防护服も数十日しか持たないとの報告もあります。また、伝統的な埋葬方法や、劣悪な衛生管理等も感染の拡大に寄与しています。現地の医療・衛生環境の向上なくしては感染の拡大を防ぐことは出来ません。



有効な対策案とは

対策としては、エボラ出血熱が疑われる患者を隔離して、治療する事が重要です。そのためには、隔離施設の整備と、医療関係者が个人防护具 (Personal Protection Equipment: PPE) で肌の露出を防ぐことが必要です。防護服は使い捨てで、患者一人につき一日 10 着から 15 着程を消費するので、膨大な数の防護服が必要となります。

また、感染が広がらないよう、感染予防の意識を一般のクリニックやコミュニティの人達に周知することが重要です。危険性を知っていても、実際にどの様に感染を防げば良いかを知っている人はまだ少ないことが感染の拡大につながっています。CWS Japan も加盟している ACT Alliance では、リベリア・シエラレオネで衛生教育の徹底にも力を入れて取り組んでいます。

CWS Japan では、横浜市や国際協力 NGO センター (JANIC) と協力し、横浜市が備蓄していた个人防护具 3 万着を西アフリカに送るプロジェクトの一役を担いました。今後も現地での感染の拡大防止活動はもちろんのこと、日本で備蓄されている个人防护具で使用期限が近いものを積極的に現地に送りたいと考えています。



あなたの支援で出来る事

現地での感染拡大を防ぐため、是非ご支援下さい。
今、現場で実施されている支援を継続することが、感染拡大の防止につながります。

3,000円のご支援で

个人防护服が
1 着購入できます。



5,000円のご支援で

1 村約 5 人に対して
衛生教育を実施出来ます。



10,000円のご支援で

衛生教育を普及するための
トレーナーを育成出来ます。



また、地方自治体などが保有する個人用防護具で使用期限が近いものがありましたら、是非幣団体にご連絡下さい。皆様のご寄付をもとに、他団体と連携し、迅速に現地に送らせて頂きます。

みなさまのご支援お願いいたします

エボラ出血熱の拡大を防ぐ現地での活動を是非ご支援下さい!

クレジットカードで申し込む

<http://www.cwsjapan.org/gift>

からお願いいたします。

銀行からご送金

銀行：三菱東京 UFJ 銀行

支店：神田支店 (331)

口座番号：普通預金 0282918

口座名：トクヒ) シーダブリュエスジャパン